名前（　　）　日付　　月　　日

地理 農業

問 1　農業の基本

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　水田などで稲を育て、米を生産する農業を何というか。	
(2)　畑で小麦・大豆・野菜などを栽培する農業を何というか。	
(3)　乳牛を飼育し、牛乳や乳製品の原料となる生乳を生産する農業を何というか。	
(4)　牛・豚・鶏などを飼育し、肉・卵・乳などを生産する農業をまとめて何というか。	
(5)　ヨーロッパなどで見られる、作物の栽培と家畜の飼育を組み合わせた農業を何というか。	
(6)　熱帯などで、天然ゴムや茶などの輸出向け作物を栽培する大規模な農園を何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

混合農業では、作物の栽培と家畜の飼育をどのように結び付けているか。二つ書きなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 農業

問 2　気候と栽培方法

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　温暖な気候や温室を利用し、生育を早めて通常より早く出荷する栽培方法は何か。	
(2)　高原の冷涼な気候などを利用し、平地より生育や出荷の時期を遅らせる栽培方法は何か。	
(3)　温室やビニールハウスなどの施設を使い、野菜や花などを育てる農業を何というか。	
(4)　作物を育てるために、川や地下水などから農地へ人工的に水を引くことを何というか。	
(5)　同じ農地で、米などの同じ種類の作物を一年に二回栽培することを何というか。	
(6)　同じ農地で、米と麦など、異なる二種類の作物を一年のうちに順に栽培することを何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

促成栽培や抑制栽培では、出荷する時期をほかの産地とずらす。農家にとって、どのような利点があるか。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 農業

問 3　日本の主な産地

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　十勝平野の大規模な畑作や、根釧台地の酪農で知られる道はどこか。	
(2)　本州の最も北に位置し、津軽地方でりんご栽培が盛んな県はどこか。	
(3)　牧之原台地などで茶の栽培が盛んな、太平洋に面する県はどこか。	
(4)　野辺山高原などで、夏の涼しい気候を生かしたレタス栽培が盛んな内陸県はどこか。	
(5)　四国の太平洋側に位置し、温暖な気候を生かしたなすなどの施設栽培が盛んな県はどこか。	
(6)　九州の南東部に位置し、きゅうりなどの施設栽培や、牛・豚・鶏の飼育が盛んな県はどこか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

長野県の高原で、夏に出荷するレタスの栽培が盛んなのはなぜか。気候と結び付けて説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 農業

問 4　世界の農業

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　華北では小麦、長江流域などでは米の栽培が盛んな、首都が北京の国はどこか。	
(2)　南アジアに位置し、デカン高原で綿花、アッサム地方で茶の栽培が行われる国はどこか。	
(3)　チャオプラヤ川流域で米を栽培し、天然ゴムの生産も盛んな、首都がバンコクの国はどこか。	
(4)　南アメリカに位置し、コーヒーや大豆の生産が盛んな、公用語がポルトガル語の国はどこか。	
(5)　パンパとよばれる草原が広がり、小麦栽培や牛の飼育が盛んな、首都がブエノスアイレスの国はどこか。	
(6)　南半球に位置し、小麦栽培や羊の飼育が盛んな、首都がキャンベラの国はどこか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

タイなどの稲作地域で、雨が少ない季節にも米を作るために、灌漑が必要になるのはなぜか。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 農業

問 5　農業の工夫と課題

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　大都市の近くで、その都市へ出荷する野菜や花などを育てる農業を何というか。	
(2)　温暖な気候や高原の涼しさを生かして野菜や花などを育て、遠くの大都市へ出荷する農業を何というか。	
(3)　地域で生産された農産物などを、その地域で消費することを何というか。	
(4)　国内で消費される食料のうち、国内の生産でまかなわれる割合を示す指標を何というか。	
(5)　農業者が生産だけでなく、農産物の加工や販売にも一体的に取り組むことを何というか。	
(6)　以前は耕していたが、作物を作るのをやめ、今後もしばらく耕す予定がない農地を何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

高齢化や後継者不足が進む地域で、耕作放棄地が増えないようにするには、どのような取り組みが考えられるか。理由とともに一つ書きなさい。

地理 農業の解答

記述は解答例です。同じ内容が表されていれば、表現が異なっても正解とします。

問 1　農業の基本

(1) 稲作　(2) 畑作　(3) 酪農
(4) 畜産　(5) 混合農業　(6) プランテーション

記述例　作物や収穫後の茎などを家畜の飼料とし、家畜のふんを堆肥にして畑の肥料に利用する。

採点のポイント　作物を家畜の飼料にすることと、家畜のふんを畑の肥料にすることの両方が書けている。

補足　酪農は畜産の一つ。プランテーションは大規模な農園を指す。

問 2　気候と栽培方法

(1) 促成栽培　(2) 抑制栽培　(3) 施設園芸農業
(4) 灌漑　(5) 二期作　(6) 二毛作

記述例　ほかの産地からの出荷が少ない時期に出荷することで、比較的高い価格で販売しやすくなる。

採点のポイント　ほかの産地からの出荷が少ない時期と、高い価格で販売しやすいことを結び付けている。

補足　灌漑は「かんがい」でも可。二期作は同じ作物、二毛作は異なる作物。施設園芸農業は施設の利用、促成・抑制は出荷時期の調整に着目した呼び方。

問 3　日本の主な産地

(1) 北海道　(2) 青森県　(3) 静岡県
(4) 長野県　(5) 高知県　(6) 宮崎県

記述例　高原は夏でも涼しく、平地では暑さで育てにくい時期にも、レタスを栽培できるため。

採点のポイント　高原は夏でも涼しいことと、レタスの栽培に適していることを結び付けている。

補足　農産物の順位の暗記ではなく、産地と自然条件・位置関係を結び付ける。

問 4　世界の農業

(1) 中国　(2) インド　(3) タイ
(4) ブラジル　(5) アルゼンチン　(6) オーストラリア

記述例　雨水だけでは稲の生育に必要な水が不足するため、川や貯水池などから農地に水を引く必要があるから。

採点のポイント　雨水の不足と、稲作に必要な水を人工的に補うことを結び付けている。

補足　乾季に雨水が不足することを指摘できればよい。すべての地域で同じ栽培方法をとるわけではない。

問 5　農業の工夫と課題

(1) 近郊農業　(2) 輸送園芸農業　(3) 地産地消
(4) 食料自給率　(5) 六次産業化　(6) 耕作放棄地

記述例　新しく農業を始める人への研修や農地の貸し出しを進め、耕作を続ける担い手を確保する。

採点のポイント　具体的な取り組みと、それが耕作の継続につながる理由が書けている。

補足　別解例：農地をまとめて共同で機械を使い、少ない人数でも耕作できるようにする。六次産業化は「6 次産業化」でも可。